

「次世代の健康のために、いまできること」

～母体血中化学物質測定・食事調査の必要性と今後の展望～

主催：千葉大学予防医学センター

共催：NPO次世代環境健康学センター

平成25年度 環境省 環境研究総合推進事業(2-0000)

第17回

千葉大学予防医学センター市民講座

「次世代の健康のために、いまできること」～母体血中化学物質測定・食事調査の必要性と今後の展望～

入場
無料

日 時：平成 26 年 3 月 16 日（日）

13:30 開場 14:00 開演

場 所：キャンパス・イノベーションセンター東京
1 F 国際会議室

参加費：無料

定 員：100 名

申 込：事前申し込み不要

次

世代の子どもたちが
健やかに成長で

きる環境づくりのために、
千葉大学では環境省が実
施する「子どもの健康と
環境に関する全国調査（工
コチル調査）」を千葉ユ
ニットセンターとして千
葉地域で推進しています。
これは私たちの身の回り
にある化学物質が子ども
の身体や心の発達にどの
ように影響するのかを調
査するもので、妊娠中
のお母さまとしてお父さま
にご協力頂いて調査を進
めています。今回の市民
講座では、これまでの全
国調査および千葉ユニッ
トセンターの追加調査か
ら見えてきた内容を一部
ご紹介いたします。



プログラム

- 13:30 開場
- 14:00 開会のあいさつ：森千里
- 14:10 母体血中化学物質の測定の必要性：森千里
- 14:50 食事調査の必要性と栄養情報：大竹正枝
- 15:20 休憩
- 15:30 血液中化学物質分析の今後の可能性：榎本剛司
- 16:20 質疑応答
- 16:30 まとめ・閉会の挨拶：森千里
- 16:45 終了

講師紹介

- 森 千里：千葉大学予防医学センター長。千葉大学大学院医学研究院教授。医師。環境汚染物質と人の健康影響について研究。森鷗外の曾孫にあたる。
- 大竹 正枝：千葉大学予防医学センター特任助教。農学博士。栄養学と人の健康について研究を取り組む。
- 榎本 剛司：日本電子株式会社データムソリューション事業部テクニカルサポートセンター。農学博士。質量分析計を用いた環境汚染物質の分析法の開発に取り組む。

この子と未来の子どものために

